

クリーンオーシャンプロジェクト2050は、エルコムが発起推進する海洋プラゼロを目指す取り組みです。賛同企業・団体の、技術や製品、企画を通して、漂着プラと企業プラの2つの発生元・排出元でのプラごみの有効利用と付加価値化を促進し、プラスチックの海洋流出防止・マイクロプラスチック化の抑制に取り組んでいます。

## 排出者責任・分別・自主回収

プラスチック資源循環促進法により、**発生元での排出抑制・自主回収や再資源化**が求められます！



しかし、プラごみのほとんどが、**複合材や汚れ・混合プラ**となっており、原料リサイクルが難しいのが現状です。

### 再資源化の3つの壁

- 運用性(分別が困難)
- 経済性(コスト)
- 持続性(環境負荷)



### クリーンオーシャン特別コーナー(分別ソリューション)

#### RICOH 樹脂判別ハンディセンサー

リコーの樹脂判別センサーは、片手でも扱える軽量かつコンパクトなサイズを実現。7つの主要なプラスチック素材を基準データとして登録。さらに、最大100種類まで追加登録可能。

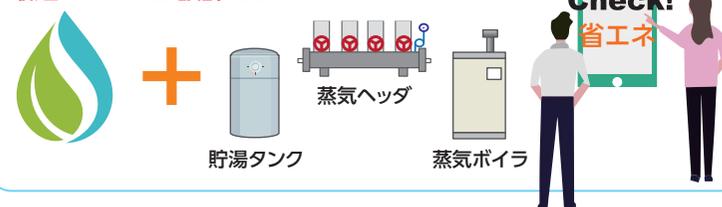


リサイクルを、もっと身近に。  
もっとスマートに。

### クリーンオーシャン特別コーナー(熱源最適化ソリューション)

**NTEC** 熱源専門メーカーとしてのノウハウと設計・施工力で、プラごみからの回収エネルギー“熱”の最適活用をサポート！

樹脂ボイラを補助熱源にした場合の既設ボイラの省エネ効果と適合診断を行い、最適なシステム設計をします！




漂着プラを島内エネルギーへ	企業プラを製造工程のエネルギーへ
<p>発泡フロート 硬質フロート</p> <p>地域産業の付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>温浴施設の熱源利用 地域活性化・雇用創出</li> <li>体験型エコツーリズム SDGsツアー、修学旅行など</li> </ul>	<p>汚れ・混合 複合材製造ロス</p> <p>サプライチェーンの付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>製造工程の熱源利用 エコブランドカアップ</li> <li>適材適所で有効利用 原料リサイクルの熱源利用にも</li> </ul>

Japan Committed to SDGs ジャパンSDGsアワード特別賞を受賞

海洋プラスチック“ゼロ”に向けて～プラごみを排出しない、流出させない！

漂着プラスチックや使用済プラスチックをその地域のエネルギーとして活用する、地産地消のプラスチック=エネルギー循環モデルの構築は、プラごみの削減及び海洋流出防止に加え、温室効果ガス排出減少にも寄与し、SDGs達成に貢献するものと高い評価をいただきました。

2021年12月首相官邸にて表彰式

# CLEAN OCEAN PROJECT 2050 クリーンオーシャンプロジェクト 2050

プラごみ排出元で資源化&エネルギー化  
～海洋プラゼロへ～



## ELCOM 株式会社エルコム

本社：〒001-0010 札幌市北区北10条西1丁目10番地1 MCビル  
TEL. (011) 727-7003 FAX. (011) 727-7004  
東京営業所：〒110-0005 東京都台東区上野2-12-18 池之端ヒロビル2階  
TEL. (03) 4405-8121  
https://www.elcom-jp.com email. aqa@elcom-jp.com



ELCOM  
Earth & Life Communication





きれいな海を守ろう!  
クリーンオーシャン  
プロジェクト2050

プラスチッククリーンエネルギー化システム

e-PEP

プラごみを排出元で資源化&エネルギー化

漂着プラ&企業プラの  
2つの発生元で  
海への流出をSTOP

STOP  
OCEAN  
PLASTIC  
POLLUTION

再資源化

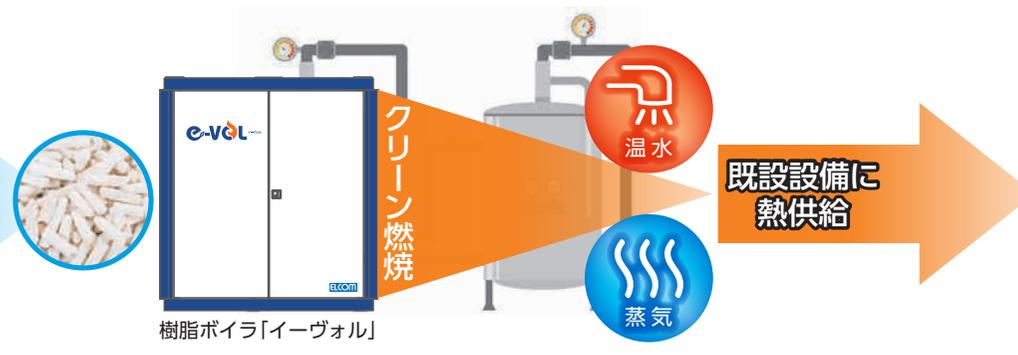
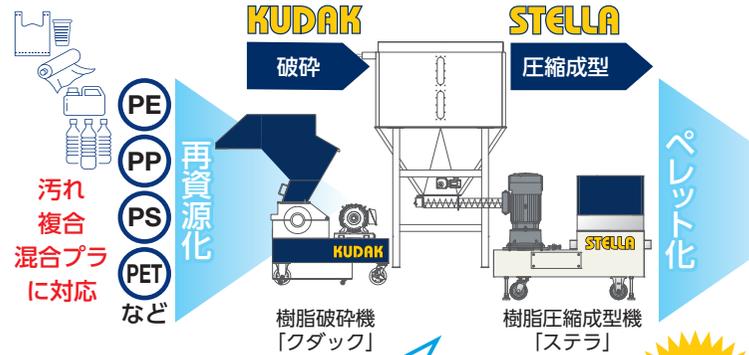
エネルギー化

省エネ・CO<sub>2</sub>削減

熱をかけずに最大1/40にペレット化

汚れ・混合・複合材にも対応

既設ボイラに干渉なくバックアップ接続可能



ユニット型  
ペレット化装置

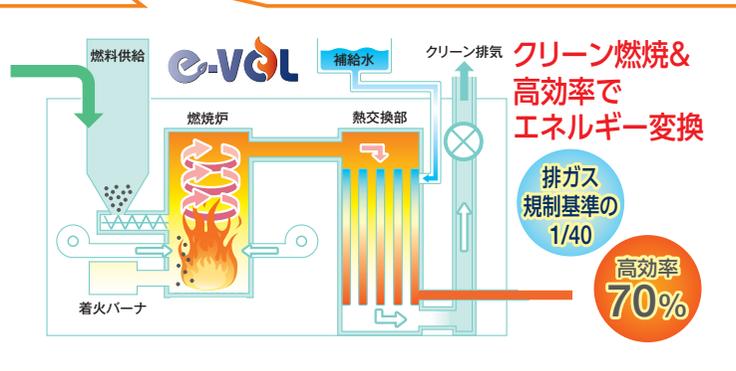
破碎～ペレット化～貯留まで  
限られたスペースで運用可能!

設置スペース約5.5m<sup>2</sup>  
1/8の省スペース実現

※当社従来比



NEW



POINT 1

プラごみ排出元で省スペースで再資源化可能!  
シンプル工程・省電力で1/40にペレット化!

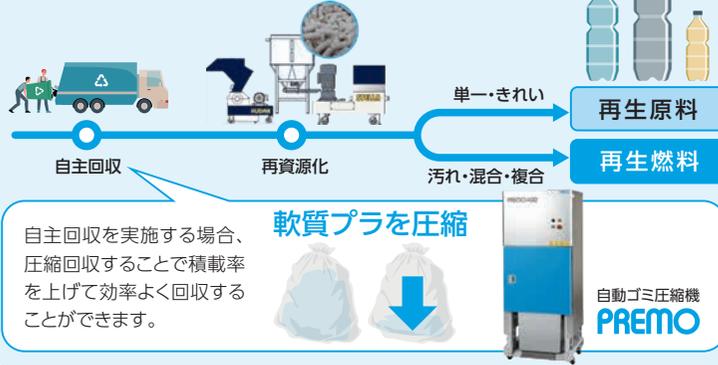
POINT 2

再利用が難しい汚れ・混合・複合プラにも対応!  
環境アセスメント不要で導入・設置が簡単!

POINT 3

大型処理施設に比べ3倍以上の高効率!  
3つの環境負荷を同時にカット!

再資源化の運搬効率の向上



e-VOLのここがスゴイ!

独自の燃焼方式により、大量の空気を炉内に送りながら、自動制御により850℃以上の燃焼温度を維持し種類の違う樹脂をクリーン燃焼。安全に発生させた熱を約70%のエネルギー効率で温水や蒸気に変換する。

プラごみ排出元で運用しやすい理由

1. ボイラ構造基準に準じており、焼却炉には非該当。
2. 小型であるため、ボイラ取扱資格環境アセスメント不要。
3. 樹脂燃料は有価物扱いとなるため廃掃法の適用外。

システムあたり(最大)

- 廃プラ排出削減 100<sup>ト</sup>ン/年
- 既存燃料の削減 9万<sup>リットル</sup>/年
- 温室効果ガス削減 290tCO<sub>2</sub>/年

スギの木 2万本分 CO<sub>2</sub>削減

最大 98% CO<sub>2</sub>削減

※従来の外部委託処理に比べ

※外部監査法人によるLCA分析に基づくGHG排出削減値。環境省のサプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースを使用。